

ダンボールコンポストで 生ごみダイエット

あなたが今捨てようとしている生ごみ。実は、ごみではありません。生ごみを“ごみ”として燃やすのではなく、“資源”として有効活用してみませんか？今回はそのひとつの方法として、ベランダでも手軽に始められる「ダンボールコンポスト」を紹介します。



始めてみよう ダンボールコンポスト

▶ダンボールコンポストって？

家庭から出る生ごみをコナツピート（天然資源の土壌改良材）などの基材とともにダンボール箱に入れて、かきまぜるだけで、自然界の微生物が分解してくれます。



約4か月で、自家製のたい肥が出来あがります。

▶ダンボールコンポストの“ココがいい！”

- ◆場所をとらず、材料の調達も簡単なので気軽に始められる
- ◆生ごみを毎日処理することができ、ごみ出しが楽になる
- ◆少量の油なら処理することができる
- ◆猫やカラスに出したごみ袋をあらされる心配が少なくなる
- ◆たい肥にした土で野菜などを育てることができる
- ◆できたい肥は安心・安全なので、良い作物ができる

▶始めたいけれど… 疑問にお答えします！

Q 生ごみなので、臭いがきつくない？

A ダンボール箱でのたい肥作りは、臭いはそれほど気になりません。気になる時は、基材に空気を混ぜ込むことで解消することができます。

Q 虫が寄り付くのでは？

A 虫に関するトラブルは少なからずありますが、コンポストに虫よけのカバーやテープングをしておくことで、虫の侵入を防ぐことができます。

Q 毎日の手入れ、面倒くさくない？

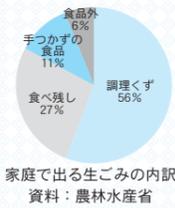
A 生ごみを入れる時だけ混ぜればOK。家を空ける時などは、休眠状態になるので、特に手入れは必要ありません。生ごみを入れて混ぜれば、すぐに再開できます。

ごみ袋開けてみると…

もえるごみに含まれる生ごみは、約40%（重量比）と言われています。その生ごみの内訳は、約56%が野菜の芯などの調理くず、約27%が食べ残し、約11%が手つかずのまま捨てられる食品です。

買い過ぎない、食べ残さないことが生ごみを減らす第一歩です。

家庭で出る生ごみの内訳
資料：農林水産省



講座・電話相談をご利用ください！

ダンボールコンポストを始めたい人または、すでに実践中で疑問がある人は、次の講座や電話相談をご利用ください。

講座の申し込みや相談は、いずれも平日の午前10時30分～午後4時30分に、大垣市環境市民会議（☎82-1761）へ。

電話相談 困ったことや分からないことがあれば、何でもご相談ください

出前講座 5人以上集まれば、ご希望の日程・会場で開催します

6・7月の講座 生ごみたい肥のコツを丁寧に解説する講座などを開催しています。お気軽にご参加ください ※定員は各20人。申し込みは6月3日から

生ごみ堆肥化講座	とき	会場	親子講座	とき	会場
	6/4(火) 13:30~15:00	①		6/29(土) 10:00~11:30	④
	6/15(土) 10:30~12:00	②		7/6(土) 13:30~15:00	②
	6/16(日) 13:00~14:00	③	落葉・雑草	6/26(水) 13:30~15:00	②
	6/20(木) 13:30~15:00	⑤	堆肥化講座	7/17(水) 10:00~11:30	④
	7/11(木) 15:00~16:00	③		7/20(土) 10:30~12:00	②
	7/20(土) 10:30~12:00	②			

- ①=リサイクルプラザ（郭町東）
- ②=エコステージおおがき（室本町）
- ③=榎丸（荒川町）
- ④=コープぎふ西濃支所（古宮町）
- ⑤=アークアウオーク大垣（林町）



暮らしを変えて、川と海をきれいに！

繰り返し使われる「水」

上流で使われた水は、浄化槽や下水処理場で処理された後に川へ流れ、下流の人たちが再び使います。繰り返し使われる水をできるだけ汚さないよう、私たちは注意を払わなければなりません。

排水口は、川・海の入り口

台所・トイレ・風呂などで使う生活排水は、1人1日平均250リットル。その生活

排水が、川や海を汚す大きな原因となっています。台所や風呂の排水口は、川や海への入り口なのです。

水を汚さない10のポイント

- ①調理の手順を工夫し、ムダなく水を使う
- ②米のとぎ汁は、最初の濃いものだけでも庭木などにまいて利用する
- ③調理くずや食べ残しが流れてしまわないように、水切り袋などを使う



- ④食器などは、油汚れを拭き取ってから洗う
- ⑤油は流さず、使い切る工夫をし、やむを得ず捨てる場合は、新聞紙などにしみこませてごみと一緒に捨てるかコンポストなどを利用し、分解させる
- ⑥トイレは、こまめに掃除する
- ⑦入浴の際は、石けんやシャンプーなどを使い過ぎないようにする
- ⑧お風呂の残り湯は、洗濯や掃除に使う
- ⑨洗濯の洗剤・石けんは、適量を使う
- ⑩歯みがきの水はコップで、洗顔は洗面器を使う



下水道への切り替えはお早めに

市は、清潔で住みよい街とするため下水道整備を積極的に進めています。お住まいの地域が、下水道を利用できる区域になりましたら、お早めに切り替えていただくをお願いします。

下水道に切り替えると、汚水を浄化センターで処理するため、河川や水路が清潔になり、悪臭や害虫の発生がなくなります。衛生的な生活環境を整え、快適な生活を送るためにも、下水道へ切り替えましょう。

工事費用の見積りや施工は、市下水道排水設備指定工事店にご依頼ください。指定工事店の一覧は、市ホームページでご覧いただけます。詳しくは、下水道課（内線593）へ。



水洗便所への改造費用などの融資あっせん・利子の全額補給

- *対象工事/市内の下水道供用区域内で、下水道に接続する工事やそれに伴う排水設備工事（新築の場合は該当しません）
- *対象者/市税および公共下水道の受益者負担金などを滞納していない人（法人・団体を除く）
- *融資金額/1戸につき30万円～200万円（1万円単位）
- *利率/平成25年度は年2.15%（毎年度変動します）
- *償還方法/元均等月賦償還（ボーナス返済併用不可）
- *償還期間/60か月（5年）以内
- *利子補給額/融資利子の全額
- *申込/工事着工前に、下水道課（内線592・593）へ

コンポストなどの補助制度

市は、生ごみや落葉などをたい肥化する人のためにコンポストの購入補助や機械の貸出を行っています。ぜひ、ご利用ください。補助申請や貸出申込など詳しくは、資源対策課（☎89-9278）へ。

▶ダンボールコンポストの資材購入に補助

ダンボールコンポスト資材（大垣市環境市民会議で取り扱うものに限る）の購入補助を行っています。※購入時には印鑑が必要

対象品目など	数量	補助金額
基材（コナツピートともみ殻くん炭の混合品）/600円	1世帯当たり1回につき2個以内（1年度当たり4個まで）	購入金額の2分の1の額（10円未満切り捨て）
ダンボール箱/250円	1世帯1年度当たり1箱	
虫除けキャップ/350円	1世帯当たり1個（講座などの説明会に参加して、初めて利用する世帯に限る）	
温度計/350円		

▶生ごみ処理容器等の購入に補助



落葉や雑草もたい肥化できる、設置型コンポスト＝写真左＝や生ごみ処理機（電気式処理機）の購入に対して補助金を交付しています。※購入前に申請が必要

5年以上前に補助を受けて購入された処理容器などが使用不能になった場合も、対象になります。

対象品	規格	補助率
設置型コンポスト	容量100ℓ以上のもの	購入金額の2分の1（限度額額3,000円）※1世帯2基まで
生ごみ処理機（電気式処理機）	家庭用で、たい肥化できるもの	購入金額の2分の1（限度額額20,000円）※1世帯1基まで

▶せん定枝粉碎機を無料貸出

家庭のせん定した枝を堆肥化する人を対象に、せん定枝粉碎機＝写真右＝を無料で貸し出しています。※運搬は各自で行っていただきます



こんな野菜作れます！

6月からダンボールコンポストを始めればたい肥ができるのは、9月から10月ごろ。そのたい肥を使えば、ブロッコリーやレタス、小松菜などが作れます。

自分で作った野菜は、愛着もわき、よりおいしく食べられるのではないのでしょうか。

また、生ごみから野菜へと、家庭内で自然のリサイクルを身近に体感することもできます。家庭菜園を楽しみながら、環境への関心を深めてみませんか。



美しいまちづくり推進団体を募集！

市と市民・企業の皆さんがお互いの役割について合意を交わし、協力して美しい生活環境をつくり出していく「アダプトプログラム」――。

具体的には、市民・企業の皆さんには、地域の道路・河川・公園などで清掃ボランティア活動を行っていただき、市は、その清掃用具の提供やボランティア保険の加入などの支援を行います。

市は、このプログラムに参加いただける「美しいまちづくり推進団体」を募集しています。

地域の環境美化にご協力をお願いします。

*対象/道路・河川・公園などで清掃ボランティア活動を年3回以上行っていただける団体（同一区域の環境美化に関する補助金の交付団体は除く）

*応募方法/環境衛生課で配布の申込書（市HPからダウンロード可）に必要な事項を記入のうえ、同課（内線418）へ



清掃を行う団体の皆さん

実践者の声を聞こう

家族で楽しんでいます！

石田さんファミリー（今宿）

今年1月から始めて、現在2箱目です。始めて約5か月になりますが、今ではコンポストに愛着がわき、ペットにエサを与える感覚で生ごみを入れ、家族で楽しんでいます。



また、最初はゴミ減量のためでしたが、安心な野菜を子どもたちに食べさせたいという気持ちから、今では菜園にも力を入れています。1箱目のたい肥で育てている夏野菜を食べる日が待ち遠しい！

多くの人に始めてほしい！

辻本與吉さん（中野町）



3年ほど前から続けています。以前まで週に2回だったごみ出しは、2週に1～2回に減りました。重たいゴミを持たなくていいし、私の家から集積所までが遠いので、かなり助かっています。

ごみの焼却には多くの費用がかかっていると聞きます。“捨てる”お金を減らし、その分を教育・福祉など、未来の子どもたちのための“生きた”お金へ回せることを願っています。コンポストは誰でも気軽にできるので、多くの人に始めてほしいですね。